

## 臨床検査課 研修カリキュラム

### A. 一般目標

臨床検査について検査項目の選択並びに結果の解釈等の理解を深めるとともに、緊急検査に必要な血液・生化学的検査、生理機能検査が実施できる。

### B. 行動目標

- 1) 検査検体の採取を適切に行える。(技能)
- 2) 検体の取り扱い、保存方法が適切に行える。(知識)
- 3) 基準値がわかり、異常値及びパニック値に対する的確に理解できる。(知識)
- 4) スクリーニング的な検査が実施でき、検査結果を評価して診断に役立てる。(知識・技能)
- 5) 輸血に対する意義、管理方法、輸血療法と副作用を理解し実施することができる。(知識・技能)
- 6) 基本的な生理検査(心電図・呼吸機能)を実施でき、その結果を評価し診断及びコメントに対処することができる。(知識・技能)
- 7) 基本的な超音波装置の取り扱いや走査法の理解と超音波画像の解剖がわかる。(知識・技能)
- 8) 超音波画像から疾患の推定が行える。(知識)
- 9) 検査を受ける患者の心理に配慮できる。(態度)

### C. 指導体制

総責任者は医療技術部部长、実務責任者は臨床検査技師長および課長・係長が担う。  
臨床検査指導体制に沿って臨床検査技師が指導する。  
検査項目によっては責任医師に指導を仰ぐ。

### D. 研修方略

- 1) 8時30分に研修先に出向き検査指導者と当日の研修内容の説明を受ける。
- 2) 臨床検査課初期臨床研修評価表(経験目標)に履修した項目をチェックする。
- 3) 研修医に必要な臨床検査の基本となる考え方を学ぶ。
- 4) 臨床検査課および臨床各科との合同勉強会には出席する。

■ 臨床検査課は検体検査部門と生理部門に分かれています。

分類	習得すべき知識	経験すべき検査	判読・判定ができる
一般検査	尿路系の理解	尿沈渣・定性	赤血球・白血球・円柱の判読
血液検査	造血の理解	末梢血液像・ 骨髓像 CBC	各細胞の判定と理解 データの解釈 検体の取り扱い
生化学・血清検査	臨床化学血清検査の基礎	化学分析 感染症	データの解釈 検体の取り扱い
輸血検査	血液型・不規則抗体の 血液製剤の管理	血液型(ABO・Rh)	血液型の判定

分類	習得すべき知識	経験すべき検査	判読・判定ができる
微生物検査	抗菌薬の理解	グラム染色 抗酸菌染色 迅速検査	陽性・陰性の区別 抗酸菌の判定 インフルエンザ・マイコプラズマ等の判定
生理検査	心臓の刺激伝導系	心電図	不整脈・ST・T変化の理解
	心臓の解剖・血行動態	心臓超音波	正常・異常エコーの理解 壁運動異常、弁膜の異常など
	各血管の走行・名称	頸動脈及び上・下 肢動静脈超音波	ブランク・狭窄の有無、 血流波形の読み方
	腹部臓器の解剖	腹部超音波	正常・異常エコーの理解
	脳の電気生理現象	脳波	正常・異常波形の理解
	各神経系の理解	筋電図他	正常・異常波形の理解

#### 【週間スケジュール】

	午 前	午 後	時間外
月曜日	臨床検査研修	臨床検査研修	
火曜日	同 じ	同 じ	
水曜日	同 じ	同 じ	血液研修会
木曜日	同 じ	同 じ	
金曜日	同 じ	同 じ	

#### 【定例研修会】

会 名	世話人	開催曜日	会場
臨床検査課病理課合同勉強会	学術委員会	年間4回	生理検査 カンファレンス室

#### 【不定期研修会】

心エコー症例検討会：月 1 回程度、心電図勉強会：月 1 回、外科・消化器科合同勉強会：月 1 回、神経生理勉強会：月 1 回  
不定期に行っている研修もある。